

1. 概 要

日本で最初に孤児院を創設し、「児童福祉の父」と呼ばれる石井十次氏の精神「隣人愛」に基づき、石井記念愛染園は1917年（大正6年）に設立された。医療・隣保・介護の3事業を行っている。愛染橋病院は、1937年（昭和12年）に診療所として設立され、地域に根ざした総合病院として発展し、2005年（平成17年）に新病院となった。地下鉄 恵美須町駅から徒歩1分、地下鉄なんば駅から徒歩15分に立地する。

当科は、総合周産期母子医療センター(NICU18床、GCU20床)としての面と、一般小児外来、小児神経・循環器・アレルギーを中心とする専門外来を有する大阪府小児地域医療センター(病床21床)としての面がある。小児外科医、小児整形外科医、小児麻酔科医と連携し、外科系疾患にも小児専門チームで対応している。

ドクターカーを有し、NMCS及びOGCSの基幹病院として、病的新生児やハイリスク妊婦に24時間体制で対応している。NICU2人当直体制で、新生児迎え搬送依頼にも迅速に対応している。産科と密に連携し、母体・新生児情報を共有し、適切な分娩時期等検討している。未受診妊婦など社会的問題をかかえる妊婦も多いが、医師、助産師、看護師だけでなく、医療ソーシャルワーカーや保健師、心理士とともに多職種協働で対応している。各部署間の連携がスムーズで、医療的ケア児のショートステイや在宅医療も行っている。

2. スタッフ構成

2012年以降、小児科医11-12名で対応。2023年度は、小児科医11名の内、日本小児科学会専門医9名、後期研修医2名、日本周産期・新生児医学会専門医6名、新生児蘇生専門インストラクター5名。NICU・GCU看護師は、計49名である。

3. 診療実績

| 年度 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 |
|--------------------------|-------|------|-------|-------|------|
| 院内出生数 | 1530 | 1356 | 1186 | 1218 | 1255 |
| NICU入院 | 315 | 296 | 302 | 326 | 351 |
| 院外出生 | 64 | 78 | 123 | 128 | 156 |
| 新生児迎え搬送 | 62 | 72 | 117 | 119 | 150 |
| 超低出生体重児（出生体重1,000g未満） | 30 | 23 | 24 | 32 | 28 |
| 出生体重1,000g～1,500g未満 | 30 | 19 | 23 | 24 | 23 |
| 超低出生体重児生存退院率 | 93.1% | 100% | 91.7% | 93.8% | 100% |
| 出生体重1,000g～1,500g未満生存退院率 | 96.6% | 100% | 100% | 100% | 100% |
| 人工換気症例 | 100 | 76 | 76 | 86 | 87 |
| 一酸化窒素吸入療法 | 5 | 4 | 4 | 9 | 8 |
| 新生児低体温療法 | 1 | 4 | 2 | 7 | 7 |
| 小児外科手術症例 | 8 | 8 | 7 | 6 | 6 |
| 未熟児動脈管開存症手術症例 | 7 | 10 | 10 | 8 | 3 |
| NICU死亡退院 | 4 | 0 | 3 | 2 | 1 |

院内出生数は年間約1200人、NICU入院数は年間約320人。新生児迎え搬送は近年増加し、2022年度は年間150人であった。超低出生体重児は年間約30人で、生存退院率は90%以上である。小児外科手術症例は年間約7人。新生児遷延性肺高血圧症に対し、2010年からアイノベント（一酸化窒素吸入療法）を導入し、年間約8人に施行。低酸素性虚血性脳症に対する新生児低体温療法を2011年から導入し、年間約7人に施行している。

質の高い安全な周産期医療を提供し、患者様に寄り添い、信頼される小児科を目指している。